

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成19年4月26日(2007.4.26)

【公開番号】特開2005-168793(P2005-168793A)

【公開日】平成17年6月30日(2005.6.30)

【年通号数】公開・登録公報2005-025

【出願番号】特願2003-412934(P2003-412934)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 0 8 G

【手続補正書】

【提出日】平成19年3月12日(2007.3.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技者が操作し得る操作ハンドルと、

前記操作ハンドルの操作に基づき、遊技領域に遊技媒体を発射可能な発射装置とを備える遊技機において、

前記操作ハンドルに遊技者が触れたことに基づき、静電容量が変化するタッチ部及び前記静電容量の変化を検出し、前記静電容量の変化を対応するデジタル電気信号として出力可能なタッチ検出手段を、前記操作ハンドルに設置するとともに、

電圧が所定以上となるような電気が前記タッチ検出手段に印加され得る場合に放電可能とする放電部材を、前記操作ハンドルの近傍に設置したことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

遊技者側に操作ハンドルを備える扉体と、前記扉体の裏側に設けられ、遊技者側に開口する収容凹部とを備え、前記扉体の裏側に前記放電部材が配置されていることを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

【請求項3】

遊技者が操作し得る操作ハンドルと、

前記操作ハンドルの操作に基づき、遊技領域に遊技媒体を発射可能な発射装置とを備える遊技機において、

前記操作ハンドルに遊技者が触れたことに基づき、静電容量が変化するタッチ部及び前記静電容量の変化を検出し、前記静電容量の変化を対応するデジタル電気信号として出力可能なタッチ検出手段を、前記操作ハンドルに設置するとともに、

電圧が所定以上となるような電気が前記タッチ検出手段に印加され得る場合に放電可能とする放電部材を、前記操作ハンドル内に設置したことを特徴とする遊技機。